

比較を通した読みの深まりを

目指して

丸亀・西中 岡田 恵実

1 授業実践

- (1) 題材名 「黄金の扇風機」
「サハラ砂漠の茶会」

(2) 題材について

① 本題材では、2つの文章がそれぞれの視点で「美」について述べている。1つの文章だけではどの内容も肯定的に捉えて理解することしかできなかった生徒も、異なる視点を持つことができ、客観的な立場から文章の内容や筆者の考えを判断・評価していくことが可能になる。また、2つの文章を比較しながら読むことで、それぞれの形式面での特徴や効果にも気づきやすくなる。この題材を通して、物事を複数の視点で捉えていく力や、自分の知識や体験と結び付けて情報を判断・評価し、自らの考えを形成する力がつくと考えられる。

② 本学級の生徒は積極的に授業に取り組める者が多く、話し合い活動も活発である。一方で、複数の視点を持つことが苦手で、相手の考えを肯定的に受け止めることにとどまりがちである。これまで、説明的文章では、まとまりどうしの関係に注意して文章の構成を捉え、内容を読み取る学習をしてきた。その際、内容を読み取ることはできるが、構成については考えることが難しい生徒が多かった。また文学的文章では、登場人物の言葉や行動の意味などに観点を置いて比較する学習をした。しかし、それぞれの特徴について考えることはできても、そこから読解を深めることが難しい生徒が多い。

③ 本題材では、次の点に留意して支援を行いたい。

- ・ 生徒が身近に感じ、憧れを持っている西中ソーランをテーマに、考えを比較することで、主体的に学習に取り組めるようにすると同時に、日常生活にも学びが生かせるようにする。
- ・ 電子黒板で動画を視聴したり、ホワイトボードで黒板に意見をまとめたりすることで、視覚的に分かりやすい教具を提示できるようにする。
- ・ 課題解決に向けた学習活動では、様々な形態での意見交流を行うことで、自らの考えを深めると同時に、自分の意見が持ちにくい生徒も活動に参加しやすいようにする。

(3) 学習指導目標

- ・ 意見を支えるための、適切な根拠のあり方を理解することができる。
- ・ 文章を読み比べて、筆者の主張や論の進め方について考えることができる。
- ・ 文章の内容について、自分の知識や体験と結び付けて考えを深めることができる。
- ・ 他者の考えと比較し、自分の考えを相手に伝えようとする。

(4) 学習指導計画(全6時間)

- ① 2つの文章を通読し、話題を捉える・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- ② 2つの文章の筆者の主張を読み取る・・・・・・・・・・・・・・・・・・2時間
- ③ 2つの文章の論の進め方や表現について読み比べる・・・・・・・・・・1時間
- ④ 2つの文章の内容を踏まえて、「美」についての自分の考えを書く・・・1時間
- ⑤ 自分の考えをまとめた文章を共有し、他者の考えと比較する・・・1時間(本時)

(5) 本時の学習指導

① 目標

- ・ 様々な文章を比較して読むことで、自分の考えを深めるとともに、比較することの効果に気付くことが出来る。

②学習指導過程

学習内容	教師の指導と支援活動	形態
1 前時の復習を行う。	・ 比較する意義を確認させる。	全体
2 本時の学習課題を知る。		全体
(学習課題) 自分の考えと比較して読んでみよう。		
3 比較して読むことで考えを深める。		
(1) 班の人の考えと自分の考えとを比較する。	・ 共通点や相違点に目を向けるよう声かけをすることで、班の人の考えと自分の考えとを比較できるようにする。	グループ
(2) 「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」の筆者の主張と自分の考えとを比較する。	・ 「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」の筆者の美についての捉え方を再度確認させ、比較の観点を明確にする。 ・ 自分の考えが「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」のどちらの筆者の考えに近いかを話し合い、分類させる。	全体
(3) 全体で考えを共有し、自分の考えと比較する。	・ 分類する際の根拠を本文に求めるように促すことで、2つの文章に立ち返ることができるようにする。	グループ
(3) 全体で考えを共有し、自分の考えと比較する。	・ 分類した考えを、ホワイトボードを使って全体で共有し、分類した理由を発表させる。 ・ 様々な考えやその根拠を共有し比較させる中で、比較をすることで客観的な視点から物事を捉えられ、新たな気づきをもたらすことに気づかせる。 ・ 既に分類されている考えでも、別の分類方法がないか問い直すことで、自分の美の捉え方について考えを深められるようにする。	全体
4 本時の学習内容を振り返る。	・ 自分の考えと、全体で出た考えや、「黄金の扇風機」、「サハラ砂漠の茶会」に示された筆者の考えを比較して、振り返りを書くよう促す。	個人

2 成果と課題

活動のテーマを生徒の関心が高いものにしたことで、一人ひとりが自分事として活動に取り組むことができた。また、ホワイトボードを使って考えを全体共有したことで、全員が活動に参加し、それぞれの考えを比較することができた。課題として、生徒が考える西中ソーランの美しさの根拠を本文に求めた際、読み間違いがある場合があったため、丁寧に読みを行える単元構成をする必要があると考える。